



メドレー<4480>、グッピーズ<5127>をTOBなどで子会社化



メドレーは、グッピーズにTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。買付価格は1株あたり3250円で、公表前営業日の終値1747円に対して86.03%のプレミアムとなる。グッピーズは賛同の意見を表明し、株主に本TOBへの応募を推奨している。TOBが成立すればグッピーズの東証グロース市場への上場は廃止となる見通し。

買付予定数は167万7274株で、下限は39万2800株（所有割合10.19%）。応募が下限に満たない場合は買い付けしない。TOBによる買付代金は54億5100万円。このほかグッピーズの肥田義光社長とその資産管理会社から1株当たり2931円で、56.47%の株式を譲り受ける（合計63億7700万円）。買収総額は約118億2900万円。

グッピーズは医療・介護・福祉分野に特化した求人サイトなどを提供している。メドレーはTOBにより「国家試験対策アプリ・新卒採用向けインターネットサービス」と「閲覧課金型の中途採用向けインターネットサービス」を獲得し、ARPU（1人当たりの平均売上金額）の改善を狙う。

買付期間は2024年1月22日から3月7日までの32営業日。決済の開始日は3月14日。公開買付代理人はみずほ証券。